

サポ通

さばえNPOサポート通信

Vol.17 事業報告特大号

発行日■2012年10月31日

発行■(特)さばえNPOサポート

編集■広報特別委員会

サポ通は、(特)さばえNPOサポートが自主発行している機関紙です

～ある参加者のレポートより～

今日、わたしは
さばコンに
行きました。



9月9日
日曜日

9月9日(日)、「さばコン」に参加しました。

まずは、1軒目のお店に到着し、受付を済ませて中へ。

スタッフの方から注意事項等の説明を受け、「さばコン」がスタート。同じテーブルに座った男性2人と和やかに会話が始まりました。ご飯もたくさん用意していただいて、ほぼ全種類制覇しました。どれもおいしくてとても満足でした。アルコールもソフトドリンクも充実していて、特にビールサーバーから注いでもらった、陽の高いうちから飲むビールは本当においしかったです。

その後、席替えで違うテーブルに。そしてそのテーブルに同席した女性が開口一番「お名前、なんて言うんですか?!」と、私たちに質問を…(笑)

そしてしばらく女性のみで盛り上がり、会話。そののち、男性とも少々会話。全体にワイワイ盛り上がり、楽しく時を過ごしました。

そして、2軒目に移動。ここでは、トランプを引いて席決めがありました。

2軒目以降はおつまみ的な物になるので1軒目でおなかを満たして下さい、と聞いていたのですが、サラダに肉団子にエビチリに焼売に唐揚げに…とたくさん用意していただいて、こちらも全種類制覇しました。どれもおいしくて大満足でした。

そして席替えタイム。女性は動かず男性のみが動きます。私たちは男性にもがんばって無理矢理質問をしていましたが、同席の女性たちは私たちに話しかけてばかりで、男性にはあまり興味がない様子…。

2軒目の時間が終わり、自由時間となりました。みんなお店を出ていましたが、私たちの他にもう1組の女性たちが残っています。彼女たちと「出会いあった～??」「ないですね～」と盛り上がり、年齢の話に。

するとお店の人も会話に加わり、旦那さんが、ひと回り以上年下だという話になりました。相方と「勇気出ます!!」と、これまた大盛り上がり。

次ページへ→

「さばコン」
とは…



さばえNPOサポートの出会い交流事業のひとつとして、今年鯖江で初めて開催された、今はやりの巨大合コン。まち全体を使い、地域の活性化も目的としているのが特徴。

同性二人一組の申し込みで、男女100名ずつの募集だったが、県内各地から応募が殺到したため、急遽120名ずつに増員されるも、それでもキャンセル待ちが出るほどであった。当日は市内の飲食店10店舗が参加して自慢の腕をふるった。

同じ日に開催された、さばえ秋HANABIとも連携をし、参加者からは、「楽しかった!」「また来たい!」と、概ね好評であった。

→前ページから

バスに乗るのが億劫なので、同じエリアのお店へ移動。奥に男性が4人で座っていたので、そこに割り込みました。

お料理もたくさんあって、特にお刺身がとてもおいしかったですのですが、お腹がいっぱい過ぎて食べられませんでした…また次の機会にいただきたいと思います。



◆お店ごとの趣向と工夫を凝らした「おもてなし」に参加者たちの会話も弾む

4人の男性との会話は、まるで大学のサークル飲み会のように異様に盛り上がり楽しかったのですが、ほどなくして女性6人で結婚の話で盛り上がってしまい、相変わらず男性そっちのけ…(笑)

イケメンじゃなくても、背が高くなくても、とにかくやさしくて思いやりのある人と結婚がしたい!…と、今更ながら心の底から思った時間でした。



◆ちょっとした“プラチナチケット”となった参加者用リストバンド



そうこうしているうちにさばコンは終了となったので、秋HANABI会場へと向かいました。

イス席を期待していたのですが、後ろの階段へと案内されました。でも腰を掛けて座れたので快適に花火を楽しめました。

花火は、大規模な花火大会のような迫力とダイナミックさは無かったですが、1つ1つをじっくり楽しめ、メッセージに心が温まる素敵な花火大会でした。アットホームでほのぼのとしていて、こういう花火大会も良いな～と思いました。

さばコンが来年も開催される際には、ぜひまた参加させていただきたいと思います。独身であれば…(笑)

結婚してしまっても、花火はまた訪れたいと思います。

本当に楽しかったです。ありがとうございました。

スタッフの方々は、当日はもちろんのこと、準備等々とても大変だったと思います。本当におつかれさまでした。

◆参加者の多くが訪れた「さばえ秋HANABI」



【このレポートについて】

今回のレポート記事は、実際に「さばコン」にご参加いただいた女性の方からご寄稿いただいたものです。「サボ通」掲載をご承諾いただいた上で、書かれたご本人と広報特別委員会の編集部で話し合いながら、事実にもとづいて構成させていただきました。

※タイトルの絵の作者と、ご寄稿いただいた人物は別人です。



とびこめ! ふみこめ! のめいこめ!!!

川里にどっぴいつかい隊

「夏のみらい塾」
2012「開催!」



夏のみらい塾は鯖江市内の小学生、中学生を対象にした2泊3日(8/24~26)の宿泊体験プログラムです。

今年は、勇気を出して「チャレンジすること」「チャレンジすることで自信を持つこと」を目的に実施。日野川の源流の一つ、田倉川と高倉谷川が流れる南越前町瀬戸をフィールドに活動しました。

ヘルメット、ライフジャケット、ウェットスーツ、軍手、ウォーターシューズを身につけ川活動を行いました。これほどの装備で川に入った経験がある子どもたちは多くはないでしょう。

スタッフのサポートにより子どもたちは次第に川活動に慣れていき、緊張からどんどん笑顔に代わっていく表情に、安心と同時に、川でのプログラムを行って良かったと感じました。

これまででもみらい塾では「川」をフィールドに活動したこともありますが、子ども達、スタッフともに今回ほど川の活動を主に実施したことはありませんでした。

この、川活動を実施することが出来たのも、地元のみなさんをはじめとした多くの方々のご協力のお陰です。ありがとうございました。

この夏のみらい塾は、参加する子どもたちに3日間の活動を通して地元福井の良いところ、人間と自然と生き物が共存していることなどを知って、感じてもらうことも共通の「ねらい」としています。また、ボランティアスタッフの高校生、大学生たちにも、この「ねらい」をみらい塾での様々な経験を通し感じてほしいと願っています。

子どもたち、ボランティアスタッフの高校生、大学生たちも鯖江の宝です。

みらい塾の力は微力かも知れませんが、今後も頑張っていこう、そんなことを改めて実感した3日間でした。

◆川は凄いで。怖いぞ。
……でも楽しいぞ☆



◆みんなてつなげる「川アート」

◆熟練の技を教えてもらおう



◆みらい塾名物「五右衛門風呂」



I and I make it!!

みんなでつくりあげよう。

～!-factory(エクスクラメーション・ファクトリー)～

見学研修会～



◆工房の商品には、一般市場でも十分戦えるデザインと機能がある

8月28日(火)、市民主役によるコミュニティビジネス支援委託事業の一環として、コミュニティビジネス実践事業所の見学研修会が開かれました。

コミュニティビジネスの起業を考えている方や福祉のボランティア団体の方、授産施設を運営されている方など、さまざまな方々が参加され、コミュニティビジネスへの関心の高さがうかがわれました。

見学先は、京都府の「!-factory(エクスクラメーション・ファクトリー)」。ここは、障がいのある人たちが働く、一般的に「作業所」と呼ばれる施設で、NPO法人「!-style(エクスクラメーション・スタイル)」が運営しています。

ただ、そんな作業所の多くは、企業の下請けで内職的な仕事しているか、自分たちが作ったものをバザーで売ることがほとんどでした。

そういう事実疑問を感じ、価値のあるもの、みんなが

本当に欲しいと思えるものを作りたい、障がいの有無に関係なく誰にでも可能性があることや、働くことで自己実現をしていき、やりがいや働きがいを感じてもらいたい。

そんな“想い”が形になったのが、「!-style」というNPOなのです。

実際に「!-factory」では、障がいを持った人たちがいきいきと意欲的に働いており、そのことがとても印象的だったと話す参加者もありました。

また、「ゼロから、あそこまで事業を大きくできたことに可能性を感じた。」「付加価値を付けることや、デザインひとつで市場が求めるものを商品として売り出すことに感心した。」といった声も。

今回のツアーはコミュニティビジネスだけでなく、自分たち一人ひとりの可能性の大きさも感じることができた、そんな学びの場となったのではないのでしょうか。



お客様の
気まぐれエッセイ

マドモアゼルはるみの

『素敵な午後はミルクティーと一緒に♥』

秋といえば、芸術の秋、食欲の秋、恋愛の秋ですね。先月行われた『さばコン』で、食欲も愛情も満たされた方もいらっしゃるのでは(^)?

さらに素敵な秋になるよう、“芸術の秋”にオススメの映画をご紹介します。

芸術といえば、パリの都。そんなパリを舞台にした『ミッドナイト・イン・パリ』(ウディアレン監督/2011年作品)という、ロマンチックなラブコメディ映画です。

主人公は、売れっ子脚本家で、婚約者と憧れのパリに婚前旅行にやってきます。

人が羨む成功を手にしながらも、本当に自分が作りたい作品はこれではないと不満を抱え、作家への転身を目指す日々。しかし彼の婚約者は、現実主義で安定志向が強く、2人は次第にすれ違っていきます…。

そんなある日、主人公が真夜中のパリで、自分が理想とするパリの黄金時代(1920年代)にタイムスリップします。憧れの芸術家や尊敬する作家に出会い、交流していく中で、『自分にとって本当に大切なものは何か?』という答えにたどり着きます。

芸術家(に限らずかもしれませんが)にとって、過去の偉人を敬うことと、今自分が向き合うべき現実から逃避しない

いことは、両方同じ位大切なのではないかと思います。

『あの時は良かったのに、どうして今はこうなんだろう』なんて感傷に浸ることもあります。これからの人生にも希望を見つけていきたいですね。

また、希望や心の充実感、幸せは、自分の内面にあるのだと気づかせてくれる映画でもありました。

ユーモア盛り沢山の会話が絶妙で、笑いに溢れています。内容以外でも『パリ』の観光地や美しい街並みの映像を楽しめて、雨のシーンですら、心がほっこり温まりますよ(^)♥

みなさんが、今年も充実した秋をすごせますよう。

それでは、ごきげんよう。

広報サポーター募集中!!

★簡単なお手伝いでもOK。個性的な仲間が揃ってます☆
詳しくは、(特)さばえNPOサポート事務局・松田まで。

編集・お問い合わせ

非特定営利活動法人 さばえNPOサポート

〒916-0024

福井県鯖江市長泉寺町1丁目-9-20 鯖江市民活動交流センター内

TEL: 0778-54-7055 FAX: 0778-54-7058

【Eメール】info@sabae-npo.org

【ホームページ】http://www.sabae-npo.org